

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2022	開講キャンパス	都城	開設学科	園芸学専攻			
科目名称[英語名称]	環境保全園芸学特論Ⅱ				授業形態	講義		
科目コード	単位数	2	配当学年	1年	実務経験教員担当		アクティブ ラーニング	○
教員氏名	山口 健一							
授業概要	21世紀は環境の時代と言われているが、園芸植物の生産においても環境と調和した持続可能な循環型栽培システムを確立することが求められている。本授業では、海外の園芸植物の栽培における環境上の問題点を深く理解するとともに、環境に配慮した土づくり、施肥、病害虫・雑草防除、リサイクルについて高度な知識を習得することを目的とする。							
関連する科目	履修前:環境保全園芸学特論Ⅰ							
授業の進め方と方法	提示する専門書あるいは学術論文について、教員が講義するとともに、受講生間で随時討議を行う。							
授業計画	<p>01. 講義の内容と進め方 授業計画について説明する。</p> <p>02. 海外の園芸生産と自然環境 園芸生産の特徴と環境に及ぼす影響について解説する。</p> <p>03. 海外の野菜園芸における環境上の問題点〔1〕 野菜の露地栽培の特徴と環境に及ぼす影響を学ぶ。</p> <p>04. 海外の野菜園芸における環境上の問題点〔2〕 野菜の施設栽培の特徴と環境に及ぼす影響を学ぶ。</p> <p>05. 海外の野菜栽培における環境保全技術 野菜園芸生産における高度技術の実践例を解説する。</p> <p>06. 授粉用外来昆虫の環境リスク(海外) 生物機能利用上の留意点を解説する。</p> <p>07. 海外の果樹園芸における環境上の問題点〔1〕 温帯果樹栽培の特徴と環境に及ぼす影響を学ぶ。</p> <p>08. 海外の果樹園芸における環境上の問題点〔2〕 熱帯・亜熱帯果樹栽培の特徴と環境に及ぼす影響を学ぶ。</p> <p>09. 海外の果樹栽培における環境保全技術 果樹園芸生産における高度技術の実践例を解説する。</p> <p>10. 地球温暖化が海外の果樹園芸に及ぼす影響 地球温暖化の現状と果樹栽培への影響を解説する。</p> <p>11. 海外の花弁園芸における環境上の問題点 花き類栽培の特徴と環境に及ぼす影響を学ぶ。</p> <p>12. 海外の花弁栽培における環境保全技術 花弁園芸生産における高度技術の実践例を解説する。</p> <p>13. 園芸資材のリサイクル(海外) 野菜・果樹・花弁園芸生産から排出される廃資材の現状を解説する</p> <p>14. 園芸植物と外来生物法</p>							
学位授与の方針(DP)との 関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力	(1)	○	(2)				
	2. 汎用的技能を応用し活用する能力	(1)		(2)				
	3. 人間力、社会力、国際性の涵養	(1)		(2)			(3)	
		(4)		(5)				
授業の到達目標	海外の野菜、果樹、花卉など園芸植物生産における環境上の問題を深く理解し、自然生態系の仕組みを踏まえた適切な植物栽培を海外で実践できる高度な知識を得る。							
授業時間外の学修	次回の授業項目をアナウンスするので、図書室等を利用して各自で予習する。(30分程度) 授業ノートおよび配布資料を参考に、受講生各自で毎回復習する。(1時間程度)							
課題に対するフィードバック	授業内で出た質問等については、補足説明および理由を付して受講生間で共有する。							
評価方法・基準	専門的知識の理解度・習熟度で判定する(100点)。							
テキスト	特に定めないが、関連資料を都度配布する。							
参考書	参考図書やデータ集を適宜紹介する。							
備考								